

お祝いの言葉


卒業生の皆さん、本日はご卒業おめでとうございます。

思い返すと入学式のときは、まだ小学生としての幼さが残り、大きな期待と少しの不安を胸にこの上条中学校の門をくぐったと思います。小学校とは違った環境にとまどい、大変だなと思ったこともあったかもしれません。けれども、勉強や部活動、学校行事などを通じて、たくさんの経験を積み、いろいろなことを学んできました。

四月からそれぞれ違った道へと進んで行くことになります。これまででは感じたことのない、様々な出来事が押し寄せてくるでしょう。しかし、この中学校生活で学んだことを礎とし、失敗を恐れず、次の目標に向かって進んでいってください。

約一年前の三月三日から五月二十二日まで、新型コロナウイルスの感染拡大により緊急事態宣言が発令され、全国で臨時休業となり、上条中学校もその一校となりました。

最初は「学校が休みだ」と喜んでいたと思いますが、

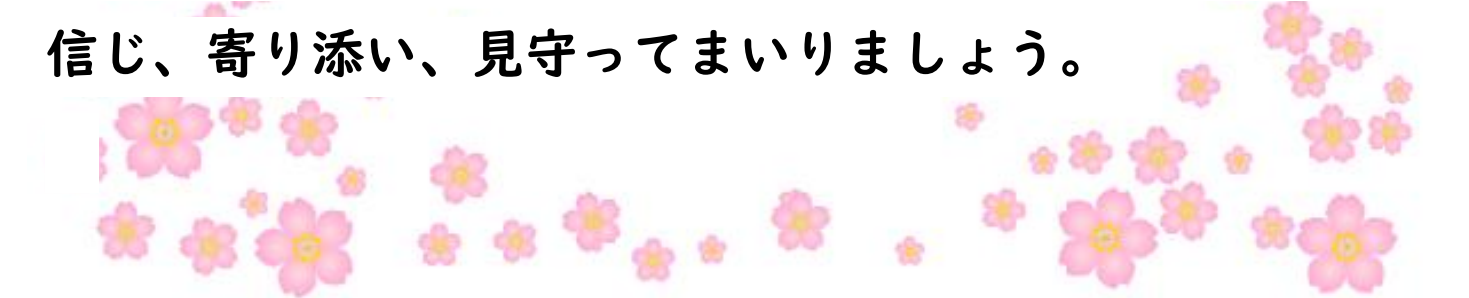


日がたつにつれ、「友達に会いたいな」「友達と遊びたいな」「学校に行きたいな」「部活したいな」と様々なことを思い、改めて友達の大切さ、学校の大切さを感じたことではないでしょうか。

人は「一人」では生きていけません。壁にぶつかった時、負けそうになった時、必ず誰かの「力」が必要になります。そういう時は、この三年間で出会った大切な友達、お世話になった先生方のことを思い出してください。必ず乗り越えていくことができるでしょう。

さて、保護者の皆様、本日はお子様のご卒業、まことに
おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。また、
これまでの三年間、PTA活動にご理解とご協力をいただきましたこと、心より御礼申し上げます。

これからは子供達も徐々に、自分自身で道を探して行くようになり、親の出番も少なくなってくるとは思いますが、本当に親から巣立っていくその時まで、今まで以上に信じ、寄り添い、見守ってまいりましょう。



本日に至るまで、熱心にご指導くださり、お支えいただきました校長先生をはじめ教職員の皆様、子供達を温かく見守ってくださった地域の皆様に、この場をお借りいたしまして、厚く御礼申し上げます。

結びに、卒業生のみなさんが自分の夢に向かって、新たなステージで活躍されますことをご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

令和三年三月十一日

甲府市立上条中学校

PTA会長 海野 忠臣

